令和7年度 岩国市デジタル活用人材育成・人材確保支援事業

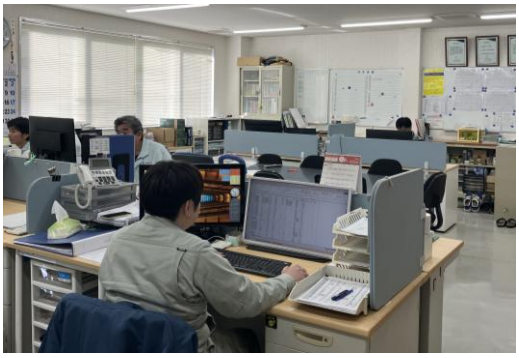
事例紹介

株式会社深川工業

会社概要

会社名	株式会社深川工業
所在地	山口県岩国市周東町上久原１４－５
事業内容	製造業
従業員数	18人（2025年12月時点）





プログラム参加のきっかけ

今回のプログラム参加は、社内でDXを進めていきたいという方針のもと「参加してDXについて学んできてほしい」という声がかかったことがきっかけでした。
参加を通じて現場と管理部門の認識を共有できたことが大きな成果となりました。

プログラムで取り組んだ内容と成果

1つ目の取り組み

課題整理

入出庫・棚卸・材料探索の全体の流れをを洗い出し、ミスが発生しやすいポイントを特定。

2つ目の取り組み

業務フロー作成

現場と管理部門が同じ業務フロー・ルールを共有することで認識を統一。

3つ目の取り組み

体制図作成

管理部・営業部・工事部・経理部のキーマンを選定し、役割を定義。

見えてきた課題と目指す姿

現状 -見えてきた課題-

- ▲ 帳簿、口頭連絡など管理手段が分散
- ▲ 入出庫記録がリアルタイムで反映されない
- ▲ 入力時のミスの発生
- ▲ 業務の属人化



2027年 -今後の目指す姿-

- ● データの一元管理
- ● 標準ルールで誰でも同品質
- ● 在庫・実績の可視化
- ● データ発注



令和7年度 岩国市デジタル活用人材育成・人材確保支援事業

事例紹介

株式会社深川工業

今後の取組内容

1 入出庫データのデジタル化と段階導入

1月

材料入出庫管理システムの試験アカウント申込みから始め対象者登録・タブレット準備・入力練習を実施。1月には現場で1カ月間の試験入力を行います。

＼ポイント／
確認・集計の手間を簡素化することを目的とし、少しの練習で運用可能な仕組みにします。

2 標準ルール・教育の徹底

2月

入出庫・棚卸ルールを明文化し、現場動線に沿った入力を設計します。キーマンが一次サポートを行い、研修とQ&A整備で定着を後押しします。

＼ポイント／
交代要員でも**同品質を維持**できる体制を目指します。

3 データ活用と効果検証

3月以降

在庫・使用実績データを蓄積し、見える化（ダッシュボード）を実現。発注点や安全在庫の見直しを行い、リードタイム短縮を検証します。

＼ポイント／
投資対効果（工数・ミス削減）を四半期ごとに測定します。

期待できる効果

- 入出庫管理、棚卸、材料探索にかかる工数削減
- 管理作業の簡素化によって他業務に手が回り、生産のリードタイムが縮小
- 誰が担当しても同品質の業務遂行により、引継ぎ・教育負荷の軽減・人員変動に強い業務体系の構築
- 実績データの蓄積、品質管理、工程改善の横展開



担当者インタビュー

Q プログラム参加を通じて今後どのようにDXを進めていきたいですか？

A いきなり全部を変えるのではなく、できるところから小さく進めていきます。まずは現在導入している勤怠管理をしっかり定着させ、自社で完結できる部分からデータ化を進めます。
無理なく続けられる形で、少しずつ仕組みを整えていきます。

Q 現在DXやデジタル化に悩まれている企業様へのメッセージをお願いします。

A 一度に全部やろうとすると混乱してしまうので、まずはできるところから始めることが大切だと思います。実際にやりながら直していくことで理解も深まりますし、自社に合ったやり方が見えてきます。小さな成功の積み重ねが大きな改善に繋がると思うので一緒に頑張りましょう！